

食料・農業・農村基本法見直しに関する 意見交換会

2023/07/14

くまもと農業女史コミュニティー AguRokka（あぐろっか）

団体名	くまもと農業女史コミュニティー「AguRokka」 （あぐろっか）		
組織の概要 （役員）	代表	永井 香織	水俣／柑橘
	副代表	佐藤 智香	阿蘇／高菜、羊
	副代表	宮川 水木	宇城／洋蘭、いちご
	会計	蘇鉄 薫	玉名／トマト
	会計	緒方 幸代	合志／鶏卵
	監査役	森本 和	菊池／トマト、米
	ほか10名程度の女性農業者により構成された任意団体		
発足	令和5年2月		

活動目的	AguRokkaは女性農業者たちが、活動や交流を通して共に成長し夢を実現していく事で、明るい農業の未来へ繋げる事を目的とし、以下の活動に取り組む団体である。 1 構成員の意識改革、スキルアップ 2 構成員の夢の実現 3 構成員の経営の発展 4 女性農業者の社会活躍促進と地位向上 5 持続可能な農業の実現 6 その他構成員が必要と判断する取組み
今後の展開	【2023年度の活動予定】 ・ 県内女性農業者向けイベントの開催（新規メンバー募集も含む） ・ 既存メンバー向け勉強会、活動検討会の開催 ・ ロゴマークの作成、SNS等の開設 ・ その他団体活動に必要な物品等の調達 将来的には地域ブロック毎の活動もできる規模に育てて行く。

わたしたちが農業の未来に望むこと

(ワークショップ集計結果)

実施時期：2021年12月

新しい農業との関わり方

労力軽減

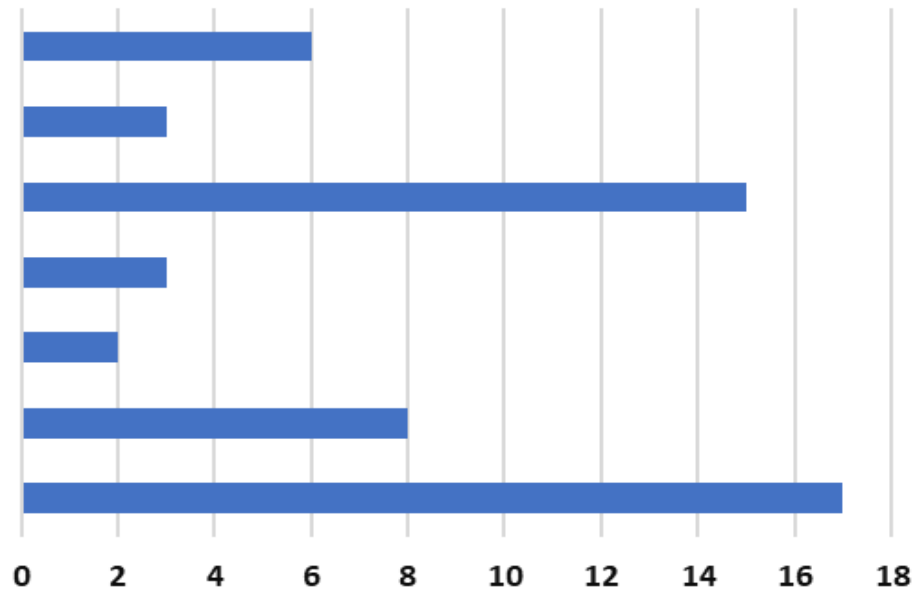
教育・PR (内外込)

放棄地・担い手

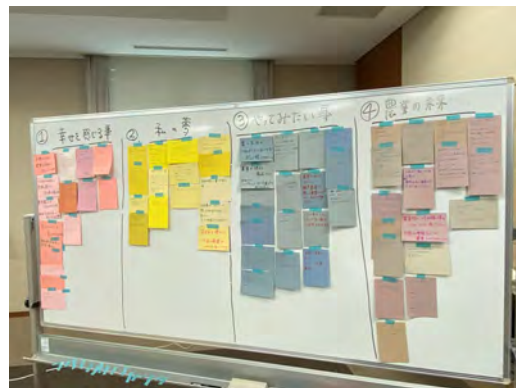
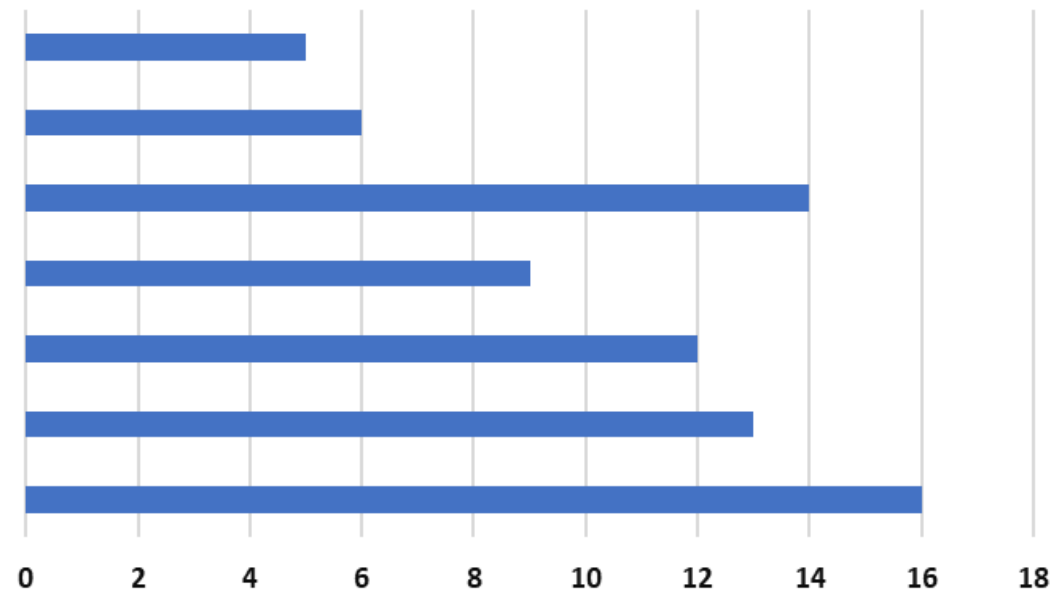
環境・エネルギー

職業としての魅力向上

収入の安定向上



実施時期：2022年8月



3位 職業としての魅力向上／2位 教育・PR（内外含む）

■ 課題

- ① 子供の職業選択肢に「農業」が入りづらい
- ② 一般の人が農業について学ぶ機会が少ない（大人子供含め）
- ③ 農業者の学ぶ機会が少ない
- ④ 消費者（世間）の農業や価格に関する理解

■ 対策等

- ① 義務教育期間の中に農業を組み込む（農に触れる機会を増やす）
- ② 遊びも含め農業を体験できる機会を増やす（体験、市民農園など）
- ③ 農業者が外部と交流・活躍する機会の創出（講師、アテンド業務など）
- ④ 農業者間の交流や学びの機会づくり

1位 収入の安定向上

■ 課題

- ① 価格の決定権がない
- ② 価格が生産コストに見合っていない
- ③ 豊作時は価格が暴落し、多量の廃棄が発生
- ④ 規格が厳しく、規格外がたくさん出る
- ⑤ 加工・6次産業に取り組む余裕がない

■ 対策等

- ① 経営管理方法の平準化（適正価格の算出根拠）
- ② 食糧保存・活用の検討（鮮度保存技術の向上、加工品、その他活用方法の検討）
- ③ 現在の「規格」の考え方の見直し
- ④ 交付金等の検討（国土を守り環境保全・改善に貢献している事に対する交付金など）